



**問**

中小企業支援、強化策の中身について伺う

さまざまな支援策を検討していきたい

新和とうかい 河野 健一 議員

議員 本村の地域経済の状況は、長引く景気の低迷、近隣市町村への大型施設等の進出、後継者不足、震災後の東海第二発電所停止の影響など依然として厳しい状況が続いている。村長の所信表明にある、中小企業支援強化策とは、どのような対策なのかを伺う。

経済環境部長 現在、村内の中小企業者に対しては、中小企業金融制度に係る融資利率補助の支援などを行っている。今後の対策としては、国や県の助成制度を積極的に活用するほか、行政としての情報発信や市街地活性化セミナーの開催、商店街リーダーの育成支援などにも、取り組んでいきたい。また、商工会や観光協会との情報共有を図り、必要なニーズ調査なども実施しながら企業

者、消費者の意見を集約できる場を設けるなど、支援強化策の構築に努めていきたいと考えている。具体的には東海村のイメージ作り、あるいはブランド作りなどに、チャレンジする団体やグループに一定期間、事業費の一部を補助するようなことも検討していきたい。



真崎商店街周辺



**問**

動物愛護に対する本村の取り組みを伺う

県動物指導センター等と連携を図り推進する

公明党 植木 伸寿 議員

議員 9月は動物愛護月間であり、この9月1日からは、改正動物愛護管理法が施行された。背景として、ペットとして飼われていた犬や猫が飼い主の事情や不適切な管理ゆえに行き場をなくし殺処分されるとい悲しい現実がある。本村では動物愛護に對しどのような取り組みをしているのか伺う。

経済環境部長 動物愛護の観点からみだりな繁殖を防止するため、犬や猫の避妊去勢手術費用の一部助成を行っている。また、飼い主不明犬の保護は最低2週間とし、ホームページでの周知や愛護推進員の協力を得て可能な限り飼い主に返還をしている。また、先月には東海ステーションギャラリーで動物愛護パネル展を開催して意識の高揚を図った。

議員 動物愛護に向け提案をしたい。県動物センターでは「ふれあい教室」を小学校に出向き開催をしている。命の尊さや適正な飼育管理を学ぶ機会として本村でも取り入れることができるか。



経済環境部長 県動物指導センターと連携をとり今後検討する。

## 一般質問